

私は8月31日～12月26日までの約4か月間、韓国ソウル市内にあるキョンヒ大学へ語学留学をしてきました。留学前は楽しみや期待する気持ちと同時に、想像できない韓国での生活に不安もたくさんありましたが、実際に韓国に行ってからそんな不安を吹き飛ばしてくれるような楽しいことが毎日たくさん待っていて、毎日が新鮮なことの連続で寝ることがもったいないくらいでした。

留学に来た当初は、まだ分からないことも多く、不安もあったので留学メンバーで外出することが多かったのですが、慣れてくると少人数や1人で外出するようになりました。そうすると買い物をする時に店員さんに声を掛けられ話したり、街を歩いている時に韓国人に道を聞かれたり、少人数や1人で行動することで自然と街で韓国語を使う機会が増えるようになり、韓国語能力の向上にも繋がったと思います。この留学を通して一番感じたことは、積極的に自分から行動することの大切さです。最初は韓国語を話すことに抵抗を感じていましたが、自分の韓国語が相手に通じるととても嬉しく、もっと話せるようになりたいと思い、そこから積極的に行動する努力をするようになりました。やっぱり語学は声を出して話してみなければ上達しないということを肌で感じることができました。

また、この留学でいろいろな国の人と出会うことで、韓国語だけではなく、他の言語も学んでみたいという気持ちが生まれました。更に他の国の人たちのほとんどは英語を話すことができ、英語の必要さを改めて知りました。このように留学をすることで、新しいものに興味を持つことができるようになり、これからの目標も見つけることができました。

留学を通して得たものはたくさんありますが、一番の宝物は出会いだと思います。今国語という1つの共通点だけで、この4か月間たくさんのお会いがありました。まずはルームメイトの佐藤帆乃佳さん、そして国情の留学組のみんな、トウミを4か月間してくれたヨンジュオッパ、初級2のクラスメートたち、そして韓国で出会った日本人たち。韓国語という1つのものでこんなにいろいろな国の人と繋がることができ、こんなにも仲良くなることができて不思議な気持ちでもあり、とても嬉しく思います。こんなに留学生生活を有意義に過ごすことができたのは、すべて彼らのおかげだと思っています。彼らと過ごした時間すべてが大切な思い出であり、わたしの宝物です。この留学だけで終わりにするのではなく、これからもずっと付き合っていきたいです。

最後に、こんなに貴重な体験をする機会を与えてくださり、支えてくださった両親、先生方、友達、関わってくれたすべての方々ありがとうございますと伝えたいです。